

17 第44回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	道路メンテナンス工事（橋梁補修） 03-F155-70		
路河川名/地区名	仁賀保矢島館合線	施工地名	由利本荘市矢島町元町
商号又は名称	山科建設株式会社	許可番号	05-000622
請 負 額	84,453,600 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 山科 優		
監理技術者等	現場代理人 平塚 光章		
監督実施公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	伊藤 茂樹	監督員	芳賀 望美
工 期	令和 3年 9月24日～ 令和 5年 3月17日	完成年月日	令和 5年 3月17日
概 要	1) 橋長 L=69.6m 幅員 W=8.7m 2) ひび割れ補修工 N=1式 3) 断面修復工 N=1式 4) コンクリートブロック工(大型ブロック積) A=294m ²		
特 徴	1) 河川協議における施工時期に制約 2) 子吉川水系流雪溝利用組合との協議に伴う制約 3) 国土交通省矢島観測所の水位観測に伴う制約		
写 真			
			
着工前		完 成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、下部工に遊離石灰を伴うひび割れ等の損傷が多数生じており、A1橋台部は河川浸食により既設護岸と支持地盤が洗掘され対策が必要と判定された橋梁の補修工事である。
- ・A1橋台上部の排水側溝は流雪溝としても利用され、冬場は滴のような出水があったため護岸の施工が困難な状況であったが、事前に流雪溝組合との協議を実施し、排雪ルートの変更や近隣の利用者への排雪対応、変更ルートが詰まった際の対応等十分に調整を図り施工を行った。
- ・本橋梁には水防団待機水位の観測を行う水位計が設置されており、仮締め切り実施の際には副水位計への観測切替や移設等の調整を要し、河川水位や河川断面に関しても制約の多い中、関係機関との協議を十分に実施し、円滑に工事を完成させた。

◆施工業者からのPR

- ・河川協議における施工時期に制約があり、非出水期での作業終了が必須であったため、施工期間の短縮を念頭に工程管理・施工方法を常に意識しながら施工を行った。
- ・作業箇所が河川内であることから、施工中における万が一の油流出に備え、緊急用油液処理キットを現場に常備し、緊急時の環境保全対策とした。
- ・護岸工施工箇所に増水時の避難経路確保の避難梯子を設置し安全対策とした。
- ・3次元データを作成し、護岸工の上下流部の摺り付け部の形状等を把握することで、事前に監督員との協議ができ、変更箇所を割り出すことができた。